

医療用品 (4) 整形用品
 吸収性ヘルニア・胸壁・腹壁用補綴材（JMDN コード：70433004）
 高度管理医療機器

再使用禁止

ウルトラプロ プラグ

【警告】

1. 感染あるいは汚染創には使用しないこと。
 [汚染された創傷に使用した場合、その後感染が起きる恐れがある。感染が起った場合、本品を除去する必要があることがある。]
2. 感染が起きた場合、適切な処置をすること。
3. 妊娠を予定している女性に使用する場合、患部の伸びに合わせて本品が十分に伸びないことがあると理解すること。
4. 使用者は、メッシュ手術に必要な外科的手術と施術方法に精通していること。
5. パッケージが開封または破損している場合は使用しないこと。

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

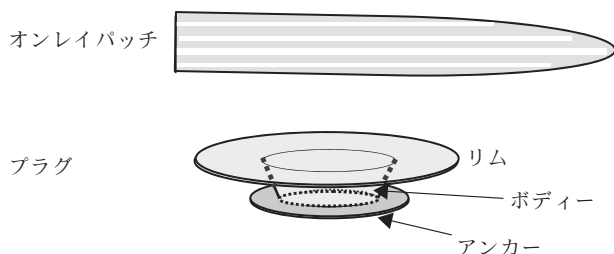
1. 再使用、再滅菌禁止。
2. 直接的に、腸や内臓組織に接触するように留置しないこと。

＜適用対象（患者）＞

1. 乳児、小児ならびに妊婦には使用しないこと。[患者の成長や患部の伸びに合わせて本品が十分に伸びないことがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、3 次元構造のプラグと、フラットなオンレイパッチからなり、ポリプロピレンモノフィラメントと、カプロラクトン／グリコライド共重合体モノフィラメントにより編成されたメッシュからなる。
2. 主原料・材質
 ポリプロピレン
 カプロラクトン／グリコライド共重合体
3. 構造等：



4. 原理：

本品は、鼠径部ヘルニアの修復を目的に使用される。体内留置後カプロラクトン／グリコライド共重合体の繊維が分解・吸収され、ポリプロピレンメッシュが残存し、ヘルニア欠損部の支持をする。

【使用目的、効能又は効果】

鼠径部ヘルニアの修復を目的に使用する。

【品目仕様等】

外観：

本品を目視により観察するとき、無着色及び青色のメッシュ、及び無着色／青色のストライプのメッシュで、異物及び糸くず、ほつれ等の欠陥がないこと。

【操作方法又は使用方法等】

1. 本品はディスポーザブルであるので一回限りの使用で再使用しないこと。
2. 縫着に際しては、必要に応じて縫合糸を用い、本品の辺縁から約 1cm 離れた箇所を確実に縫着すること。
3. 使用手順
 - 1) 鼠径ヘルニアへのアプローチ
 ○外鼠径ヘルニア
 (1) ヘルニア囊の頸部を高位剥離し、本品を挿入するための腹膜前腔のスペースを確保する。
 (2) プラグをアンカーから内鼠径輪に挿入し、プラグ辺縁を横筋筋膜に、縫合固定する。
 (3) 必要に応じて精索を通すためにスリット加工をする。
 ○内鼠径ヘルニア
 (1) ヘルニア囊の頸部で横筋筋膜および腹膜前筋膜を全周的に切開し、プラグ挿入のために腹膜前腔のスペースを確保する。
 (2) ヘルニア囊を腹腔側に向けて還納後、ヘルニア門にプラグを挿入し、ヘルニア門辺縁の横筋筋膜に固定する。
 ○大腿ヘルニア
 (1) 大腿法にて行う。ヘルニア囊を還納した後、プラグを大腿管に挿入する。
 (2) 周辺の鼠径靱帯、裂孔靱帯及び恥骨筋膜に縫合固定する。この場合、オンレイパッチは、通常必要ない。
 - 2) オンレイパッチの使用（共通）
 オンレイパッチで鼠径管の後壁を覆い、精索を通すためにスリット加工をする。再発リスク低減のため、恥骨結節およびラテラルトリアングルに余裕を持ってカバーし、縫合固定する。
 - 3) プラグの使用（共通）
 プラグは欠損部に合わせた適切なサイズを選択すること。アンカーには切れ込みを入れたりトリミングをしないこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 医療用の目的以外に使用しないこと。
- 2) 本品を取り扱う場合、鉗子などの手術器具で押しつぶしたりして傷つけないこと。鋭利な医療機器等またはアブレーション機器・電気メス等による手術中のデバイスの損傷を防止するよう注意すること。
- 3) 取扱時に本品を傷めないよう手袋、ガーゼ等で摩擦しないこと。
- 4) 包装材料に傷をつけたり、ピンホールを生じさせないように取り扱うこと。
- 5) 開封後、使用しなかったものは廃棄し、再滅菌しないこと。
- 6) 鼠径ヘルニア修復術では、必ず本品のプラグとオンレイパッチを使用すること。フラットなオンレイパッチ自体は、プラグとして使用するものではない。
- 7) プラグを縫合する際には、リムの幅の中心部を通して、筋膜または大腿ヘルニアの場合は大腿管の開口部を形成する組織にしっかりと固定すること。
- 8) 筋膜の辺縁がしっかりと固定されるように、欠損部のすべての面をオンレイパッチで完全に覆うこと。
- 9) オンレイパッチをしっかりと固定し、辺縁のロールアップおよび折りたたみを防止すること。
- 10) 縫合する箇所はメッシュの辺縁から約 1 cm の距離に取ること。
- 11) 縫合糸（別品目）で固定する際は、確実に固定すること。
- 12) 本品は吸収性材料を含むため、軽度あるいは中等度の一過性異物反応を引き起こす可能性がある。
- 13) 本品の吸収性材料の曝露量に関して、当社データから、体重 60 kg の患者に対し 4 ヶ月間に 2 個（ラージサイズ）までを推奨する。

2. 不具合、有害事象

本品を使用するに際し考えられる不具合、有害事象は、外科的に埋植される材料にて一般的に発生するものと同様であり、以下のものが考えられる。

炎症性の異物反応

漿液腫形成

感染

癒着形成

瘻形成

突出

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵方法・保管方法

高温、多湿、直射日光及び水ぬれを避けて室温にて保管すること。

※※ 2. 有効期間・使用の期限

1) 有効期間：24 ヶ月

2) 使用期限は製品の包装に表示されている。

3) 使用期限の過ぎたものは廃棄し使用しないこと。

※【包装】

1 箱 1 セット入り、2 セット入り、6 セット入り

【主要文献及び文献請求先】

文献請求先：**ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社**

エチコンジャパン

〒 101-0065 東京都千代田区西神田 3 丁目 5 番 2 号

電話番号：03-4411-7901

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：**ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社**

〒 101-0065 東京都千代田区西神田 3 丁目 5 番 2 号

電話番号：03-4411-7901

緊急連絡先：上記電話番号に連絡のこと。

製造業者：

- ・ ジョンソン・エンド・ジョンソン メディカル社
(Johnson & Johnson Medical GmbH) ドイツ